



2025 年 10 月 17 日

各位

会 社 名 株 式 会 社 ユ ニ バ ン ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 高 尾 紀 彦
(コード番号 7 2 5 4 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 執 行 役 員 藤 崎 一
(TEL : 0 5 3 - 5 7 6 - 1 3 1 1)

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想の修正
及び特別損失に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年5月12日の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した2026年3月期第2四半期（中間期）（2025年4月1日～2025年9月30日）の連結業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

また、当社の連結子会社である株式会社遠州クロム（浜松市）の工場敷地内における土壌及び地下水汚染に関する計画の見直しに伴い、環境対策引当金の追加計上等の特別損失を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想
（2025年4月1日～2025年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	24,250	800	800	530	25.44
今回予想（B）	28,000	2,100	2,200	1,100	52.77
増減額（B－A）	3,750	1,300	1,400	570	
増減率（％）	15.5	162.5	175.0	107.5	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2025年3月期第2四半期）	28,290	2,213	2,387	1,895	91.01

<修正の理由>

第2四半期（中間期）の連結業績予想につきましては、米国関税政策の混乱や中国市場の冷え込みによる販売減を見込んでおりましたが、主にアジア拠点でのユニット及び日本拠点での部品の販売が想定を上回り、加えて想定より為替が円安に推移したことにより、売上高及び営業利益以下の利益が前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、米国関税政策の影響が依然不透明であり、2026年3月期通期の連結業績予想については現時点での修正は行いません。今後修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 特別損失の計上について

当社連結子会社である株式会社遠州クロムの工場敷地内における土壌および地下水汚染への対応に関し、2025年5月23日に公表しました計画の見直しに伴い、環境対策引当金等5.8億円を特別損失として計上する見込みとなりました。当特別損失の発生見込みについては、前述の2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想に折り込んでおります。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上